

令和5年度 第2回 村上市子ども・子育て会議 次第

日時：令和5年11月15日（水）
午後2時から

会場：村上市役所 大会議室（4階）

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 議 事

（1）ニーズ調査等について……………資料No.1-1、1-2

（2）第2期村上市子ども・子育て支援事業計画 令和4年度実績について……………資料No.2

4 その他

5 次回の会議日程

令和6年3月下旬 村上市役所 会議室

6 閉 会 副委員長挨拶

村上市子ども・子育て会議委員名簿

任期：令和5年8月28日～令和7年8月27日

(敬称略)

番号	氏名	号数	備考
1	増田 寛之	1号委員 子どもの保護者	村上市岩船郡PTA協議会 理事
2	飯島 渚		山居町保育園 父母の会 前会長
3	渡部 悠里		村上いずみ園父母の会 会長
4	平野 路子	2号委員 関係団体の推薦を受けた者	村上市社会教育委員 (兼村上市公民館運営審議会委員)
5	市井 栄吉		村上市民生委員児童委員協議会連合会 理事
6	長 千恵子		村上市主任児童委員
7	竹田 みゆき	3号委員 子ども・子育て支援に関する事業に従事する者	NPO法人 おたすけさんぼく 理事
8	富樫 恵子		医療法人 佐藤医院 あんず保育園 事務次長
9	小池 展子		NPO法人 村上ohanaネット 副理事長
10	工藤 いく子		フードバンクさんぼく 代表
11	齋藤 武		一般社団法人 Natural 児童発達支援所 はる 代表理事
12	本間 まゆみ		NPO法人 ここスタ 理事
13	鈴木 史	4号委員 子ども・子育て支援に関し学識経験のある者	厚生連 村上総合病院 助産師
14	仲 真人		新潟青陵大学短期大学部 幼児教育学科 教授

鈴木 健史	オブザーバー	村上市岩船郡中学校長会 会長 村上市立村上第一中学校長
松田 洋平		村上市岩船郡小学校長会 会長 村上市立村上小学校長

事務局	押切 和美	保健医療課長
	太田 秀哉	福祉課長
	小川 智也	学校教育課長
	平山 祐子	生涯学習課長
	山田 昌実	こども課長
	高橋 洋一	こども課課長補佐 (子育て支援室長)
	小林 毅	こども課 子育て支援室 副参事
	高橋 洋樹	こども課 子育て支援室 副参事
	高橋 朗	こども課課長補佐 (子育て政策室長)
	渡辺 悟	こども課 子育て支援室 副参事

就学前児童
保護者対象

第3期村上市子ども・子育て支援に関する

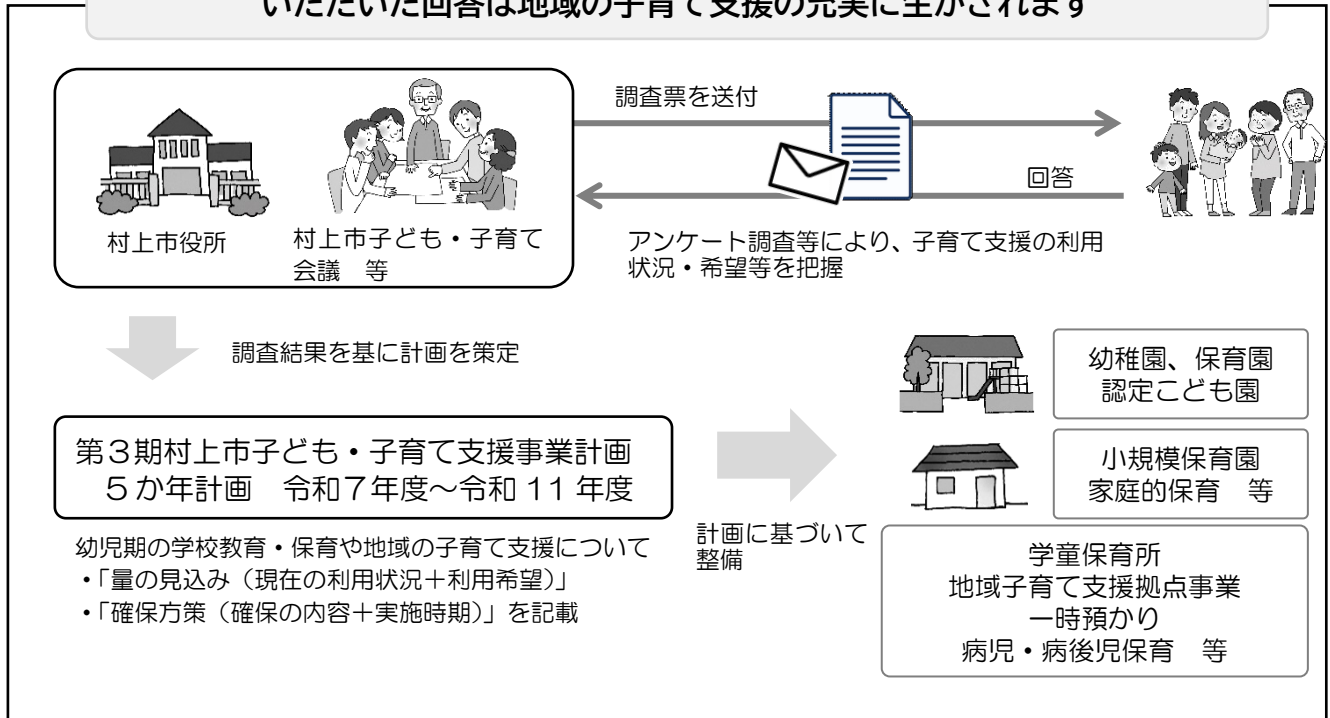
アンケート調査 ご協力のお願い

村上市では、市に住むすべての子どもや保護者が誰一人取り残されることなく、未来に夢や希望をもつことができるようなまちの実現に向け、計画を策定し、様々な取り組みを行っています。

市の子育て施策の一層の充実に向け、市民のみなさまの幅広い意見をおうかがいし、まちづくりに反映するため、アンケート調査を実施しております。



いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



●調査の問い合わせ先

回答期限 ●月●日（●）まで

村上市 こども課 子育て政策室

TEL：0254-53-2111(内線 2510・2511)

ご回答にあたってのお願い

- この調査は就学前（0歳から5歳）までの子どもの保護者の方にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、子ども・子育て支援事業計画策定のみを利用させていただき、それ以外の目的には利用いたしません。
- この調査票は無記名で行い、統計的に処理しますので、お答えいただいた方の内容が他に知られることはありません。そのため、調査票および返信用封筒には、お名前を記入する必要はありません。
- この調査は、封筒のあて名のお子さんを対象にしています。保護者の方がご記入ください。
- お父さん、お母さんそれぞれへの質問には、それぞれご本人が考えた答えをご記入ください。
- ひとり親家庭等で記入できない場合は、それぞれへの質問には答える必要はありません。
- お答えは調査票の該当する項目の番号を○印で囲んでください。
- また、回答欄にある（ ）には数値をご記入ください。数字は1枠に1字です。
- ご記入いただきました調査票は、封筒に入れて保育園または幼稚園の先生にお渡しください。郵送にて配布された世帯の方は、返信用封筒をご投函ください。なお、調査の実施につきましては、株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所に委託しています。

(用語の説明)

この調査票における用語の説明は以下のとおりです。

用語	内容
●認定こども園	幼稚園と保育園の機能をあわせ持ち、就学前の子供に幼児教育・保育を一体的に提供する機能と、地域に子育て支援を行う機能を持つ施設です。(村上いずみ園)
●幼稚園	満3歳～小学校就学までの幼児を教育し、心身の発達を助長するための教育施設です。(村上幼稚園)
●保育園	保護者が就労等の理由で保育に欠ける乳児又は幼児を保育することを目的とした児童福祉施設です。(市立保育園【市内には現在14園】)
●地域子育て支援センター	地域の子育て家庭に対する育児支援を行うため、子育て広場、相談事業、育児講座等を行います。未就学のお子さんとお家の方が対象になります。市内に7か所子育て支援センターを設置しています。
●児童館	気軽に利用できる子どもたちの遊び場です。遊びを通じて、体の成長やこころの安定を援助します。未就園のお子さんとお家の方が対象になります。(村上地域のみ。二之町・南町・岩船・瀬波の4児童館)
●学童保育所	放課後、保護者等が不在の小学生の健全育成と福祉の増進を図ります。全ての小学生が対象で、各地域合計で11か所の学童保育所を開設しています。
●放課後子ども教室	学校・家庭・地域が連携をして、地域全体の子どもを育む活動です。放課後や週末、長期休暇などに、さまざまな体験活動を実施しています。(村上小学校・村上南小学校・岩船小学校・瀬波小学校・山辺里小学校・保内小学校・金屋小学校・朝日みどり小学校・朝日さくら小学校・小川小学校・さんばく小学校)
●ファミリー・サポート・センター	市民が仕事と育児を両立させ、安心して働くことができる地域づくりを進めるため、「子育てを手伝ってほしい人【依頼会員】」と「子育てを手伝う人【提供会員】」が、それぞれ会員となり、地域で子育ての助け合いを有償で行う会員組織です。

1. お子さんご家族の状況について

Q1 お住まいの地区はどちらですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 村上地域 2 荒川地域 3 神林地域 4 朝日地域
5 山北地域

Q2 あて名のお子さんの生年月を教えてください。（「平成」「令和」のどちらかに○を付けてください）

平成・令和 ()年 ()月

Q3 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 母親 2 父親 3 その他 ()

Q4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 配偶者がいる 2 配偶者はいない

Q5 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係であてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母
5. その他 ()

2. 子どもの育ちをめぐる環境について

Q6 平日に、あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係であてはまる番号すべてに○をつけてください

- 1 父母ともに 2 母親 3 父親 4 祖父母
5 幼稚園 6 保育園 7 認定こども園
8 その他 ()

Q7 休日に、あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係であてはまる番号すべてに○をつけてください。

-
- 1 父母ともに 2 母親 3 父親 4 祖父母
5 幼稚園 6 保育園 7 認定こども園
8 その他（ _____ ）

Q8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境はどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

-
- 1 家庭 2 地域 3 幼稚園 4 保育園
5 認定こども園 6 その他（ _____ ）

Q9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

-
- | | |
|-----------------------------------|---------|
| 1 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | ⇒Q9-1 へ |
| 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | ⇒Q9-1 へ |
| 3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | ⇒Q9-2 へ |
| 4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | ⇒Q9-2 へ |
| 5 いずれもない | ⇒Q10 へ |

→Q9で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

Q9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

-
- 1 祖父母等の親族の時間的制約や身体的・精神的な負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2 祖父母等の親族の時間的制約や身体的・精神的な負担が大きく、心配である
3 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
4 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
5 その他（ _____ ）

→Q9で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

Q9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 友人・知人の時間的制約や身体的・精神的な負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 2 友人・知人の時間的制約や身体的・精神的な負担が大きく、心配である
- 3 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 4 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- 5 その他 (_____)

Q10 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)をするうえで、気軽に相談できる人はいますか。もしくは、相談できる場所がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 いる/ある ⇒Q10-1へ
- 2 いない/ない ⇒Q10-2へ

→Q10で「1 いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。

Q10-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 配偶者
- 2 祖父母等の親族
- 3 友人や知人
- 4 近所の人
- 5 子育て支援施設(地域子育て支援センター、児童館等)・NPO
- 6 保健所
- 7 保育士
- 8 幼稚園教諭
- 9 民生委員・児童委員
- 10 かかりつけの医師
- 11 市の子育て関連担当窓口
- 12 市の保健師
- 13 その他【例】ベビーシッター (_____)

Q10-2 あなたは、子育てに自信がもてないことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 大いにある
- 2 わりとある
- 3 あまりない
- 4 ほとんどない

Q10-3 この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 しつけのし過ぎがあった
- 2 感情的に叩いた
- 3 子どもだけを家に残して外出した
- 4 長時間食事を与えなかった
- 5 感情的な言葉で怒鳴った
- 6 子どもの口をふさいだ
- 7 子どもを激しく揺さぶった
- 8 いずれも該当しない

Q11 子育て（教育を含む）をするうえで、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあれば良いとお考えでしょうか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 自宅訪問での指導
- 2 保健師や助産師による助言の機会提供
- 4 一時的な育児支援サービス
- 3 育児に関する情報発信
- 5 気軽に相談できる窓口の設置
- 6 育児に関する学びの場の提供
- 7 育児に関する悩みを共有できる場の提供
- 8 育児に関する地域のイベントや活動の実施
- 9 その他（ _____ ）

3. お子さんの保護者の就労状況について

Q12 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（母親・父親それぞれひとつに○）

		就労状況・就労希望					
		1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	6. これまで就労したことがない
① 現在の状況	母親	1	2	3	4	5	6
	父親	1	2	3	4	5	6

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

※フルタイム：（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

※パート・アルバイト等：フルタイム以外での就労

→ Q12で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

Q12-1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（母親・父親それぞれに記入）

母親	1週間あたり（ _____ ）日程度	1日あたり（ _____ ）時間程度
父親	1週間あたり（ _____ ）日程度	1日あたり（ _____ ）時間程度

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

→Q12で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

Q12-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(母親・父親それぞれに記入)

母親	家を出る時刻：() 時	帰宅時刻：() 時
父親	家を出る時刻：() 時	帰宅時刻：() 時

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

→Q12で「3」「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

※該当しない方は、Q13へお進みください。

Q12-3 フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(母親・父親それぞれひとつに○)

	母親	父親
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	3	3
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

→Q12で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。※該当しない方は、Q13へお進みください。

Q12-4 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。(母親・父親それぞれひとつに○)

	母親	父親	記述欄
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1	1	
1年より先、一番下の子どもが()歳になった頃に就労したい	2	2	()歳
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい ⇒「1. 希望する就労形態」へ	3	3	
就労したいができない	4	4	理由()

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

1. 希望する就労形態

母親	①フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)	②パートタイム、アルバイト等(「①」以外)
	1週あたり:()日	1日あたり:()時間
父親	①フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)	②パートタイム、アルバイト等(「①」以外)
	1週あたり:()日	1日あたり:()時間

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

Q13 新型コロナウイルス感染症の影響で働き方に変化がありましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 変わらない(同じ働き方をしている、または、もともと働いていない)
- 2 正社員から別の就労形態に変更した
- 3 職場は変えないまま、時短勤務に変更した
- 4 職場は変えないまま、リモート勤務に変更した
- 5 正社員以外の就労形態から、別の就労形態に変更した
- 6 起業した
- 7 就労していない状態から、働き始めた
- 8 その他()

4. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育園など、Q14-1に示した事業が含まれます。

Q14 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 利用している ⇒Q14-1~14-5へ
- 2 利用していない ⇒Q14-6~14-8へ

→Q14で「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

Q14-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1 幼稚園（通常の就園時間の利用）
⇒村上幼稚園 | 2 幼稚園の預かり保育
（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ） |
| 3 保育園
（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）
⇒市内の保育園 | 4 認定こども園
（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
⇒村上いずみ園 |
| 5 小規模な保育施設
（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員がおおむね6～19人のもの）
⇒ゆりかご保育園、マイマイ保育園、認可保育園きらら | 6 家庭的保育
（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業） |
| 7 事業所内保育施設
（企業が主に従業員用に運営する施設）
⇒あんず保育園 | 8 その他の認可外の保育施設
⇒村上はまなす病院託児所、さんさん保育園、村上総合病院よつば保育園 |
| 9 居宅訪問型保育
（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業） | 10 ファミリー・サポート・センター
（地域住民が子どもを預かる事業） |
| 11 その他（ _____ ） | |

→Q14で「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

Q14-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かを、（ ）内に具体的な数字でご記入ください。

現在	1週あたり（ _____ ）日	1日あたり（ _____ ）時間	（ _____ ）時～（ _____ ）時
希望	1週あたり（ _____ ）日	1日あたり（ _____ ）時間	（ _____ ）時～（ _____ ）時

→Q14で「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

Q14-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------|----------|
| 1 村上市内 | 2 他の市区町村 |
|--------|----------|

→Q14で「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

Q14-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。
主な理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 子どもの教育や発達のため
- 2 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
- 3 子育て（教育を含む）をしている方の就労予定がある／求職中である
- 4 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
- 5 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障がいがある
- 6 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
- 7 その他（ _____ ）

→Q14で「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

Q14-5 現在の保育の質について満足していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 満足
- 2 やや満足
- 3 どちらともいえない
- 4 やや不満
- 5 不満

→Q14で「2 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

※該当しない方は、Q15へお進みください。

Q14-6 利用していない理由は何ですか。理由として最もあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、または子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）
- 2 子どもの祖父母や親戚の人がみている
- 3 近所の人や父母の友人・知人がみている
- 4 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
- 5 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
- 6 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
- 7 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
- 8 子どもがまだ小さいため（ _____ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
- 9 その他（ _____ ）

→Q14で「2 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

Q14-7 理由を問わず保育施設を利用できるとしたら、利用したいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 利用したい
- 2 利用したくない

→Q14で「2 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

Q14-8 保育施設を利用するとしたら、その頻度はどの位利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かを、（ ）内に具体的な数字でご記入ください。

1週あたり（ ）日 1日あたり（ ）時間 （ ）時～（ ）時

Q15 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

- | | |
|---|---|
| 1 幼稚園（通常の就園時間の利用）
⇒村上幼稚園 | 2 幼稚園の預かり保育
（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ） |
| 3 保育園
（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）
⇒市内の保育園 | 4 認定こども園
（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
⇒村上いずみ園 |
| 5 小規模な保育施設
（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員がおおむね6～19人のもの）
⇒ゆりかご保育園、マイマイ保育園、認可保育園きらら | 6 家庭的保育
（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業） |
| 7 事業所内保育施設
（企業が主に従業員用に運営する施設）
⇒あんず保育園 | 8 その他の認可外の保育施設
⇒村上はまなす病院託児所、さんさん保育園、村上総合病院よつば保育園 |
| 9 居宅訪問型保育
（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業） | 10 ファミリー・サポート・センター
（地域住民が子どもを預かる事業） |
| 11 その他（ ） | |

Q15-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 1 村上地域 | 2 荒川地域 | 3 神林地域 |
| 4 朝日地域 | 5 山北地域 | 6 他の市区町村 |

Q18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑥の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかの番号に○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
① パパママ応援教室	1	2	1	2	1	2
② 家庭教育に関する学級・講座・講演会	1	2	1	2	1	2
③ 子育て支援センター情報紙 子育てメールマガジン「はぐナビ」	1	2	1	2	1	2
④ 児童館	1	2	1	2	1	2
⑤ ファミリー・サポート・センター	1	2	1	2	1	2
⑥ 子育て応援タクシー利用補助金	1	2	1	2	1	2

村上市ファミリー・サポート・センター

村上市ファミサポは、現在、依頼会員・提供会員を募集中です。すぐにご利用できるように事前の登録をお勧めします。詳しくは、下記までお問い合わせください。(月～金 8:30～17:15)

こども課子育て支援室 (53-2111 内線 2543) または、各子育て支援センター



詳細については
QRコードから
ご確認ください。



子育て応援タクシー利用補助金

妊婦さんが陣痛時に利用するタクシーと、お子さんの具合が悪い時にタクシー利用が止むを得ない場合のタクシー料金の補助を受け付けております。詳しくは、下記までお問い合わせください。

こども課子育て支援室 (75-8939 直通)



詳細については
QRコードから
ご確認ください。



Q19 村上市ファミリー・サポート・センターをどのような目的で利用したいと思えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 主たる保育サービスとして利用する
- 2 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用する
- 3 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用する
- 4 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用する
- 5 保育園・小学校・学童保育所等の送り迎えに利用する
- 6 習い事の送り迎えに利用する
- 7 その他の目的で利用する
- 8 利用したくない、または利用する必要がない

6. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

Q20 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業※の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。あてはまる番号1つに○をつけてください。また希望がある場合は、利用したい時間帯を、() 内に数字でご記入ください。

(1)	1	利用する必要はない	2	利用したいが利用できない	3	ほぼ毎週利用したい	4	月に1～2回は利用したい
土曜日								
利用したい時間帯			() 時から		() 時まで			
(2)	1	利用する必要はない	2	利用したいが利用できない	3	ほぼ毎週利用したい	4	月に1～2回は利用したい
日曜日・祝日								
利用したい時間帯			() 時から		() 時まで			

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

→ Q20の(1)もしくは(2)で、「**2 利用したいが利用できない**」に○をつけた方にうかがいます。

Q20-1 利用できない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 保育・教育の事業に空きがない
- 2 経済的な理由で事業を利用できない
- 3 延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
- 4 事業の質や場所など、納得できる事業がない
- 5 その他 (_____)

→ Q20の(1)もしくは(2)で、「**4 月に1～2回は利用したい**」に○をつけた方にうかがいます。

Q20-2 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 月に数回仕事が入るため
- 2 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
- 3 親族の介護や手伝いが必要なため
- 4 息抜きのため
- 5 その他 (_____)

→「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

Q21 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また希望がある場合は、利用したい時間帯を、()内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- 1 利用する必要はない
- 2 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
- 3 休みの期間中、週に数日利用したい

利用したい

時間帯

()時から ()時まで

→Q21で、「3 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

Q21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 週に数回仕事が入るため
- 2 買い物等の用事をまとめて済ませるため
- 3 親族の介護や手伝いが必要なため
- 4 息抜きのため
- 5 その他 ()

7. お子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用している方のみ）

→平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（Q14で1に○をつけた方）にうかがいます。※利用していない方は、Q23へお進みください。

Q22 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

- 1 あった⇒Q22-1～22-4
- 2 なかった⇒Q23へ

→Q22で「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。

Q22-1 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

1年間の対処方法	日数
1 父親が休んだ	()日
2 母親が休んだ	()日
3 (同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった	()日
4 父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	()日
5 病児・病後児の保育を利用した	()日
6 ベビーシッターを利用した	()日
7 ファミリー・サポート・センターを利用した	()日
8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()日
9 その他()	()日

→Q22-1で「1」または「2」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

Q22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- 1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したい⇒Q22-3へ
- 2 利用したいと思わない⇒Q22-4へ

()日

→Q22-2で「1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

Q22-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 他の施設(例:幼稚園・保育園等)に併設した施設で子どもを保育する事業
- 2 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
- 3 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
- 4 その他()

⇒Q23へ

→Q22-2で「2 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。

Q22-4 そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
- 2 地域の事業の質に不安がある
- 3 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
- 4 利用料がかかる・高い
- 5 利用料がわからない
- 6 親が仕事を休んで対応する
- 7 その他（ _____ ）

⇒Q23へ

8. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

Q23 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（年間）
1 一時預かり（私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）	（ _____ ）日
2 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	（ _____ ）日
3 ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	（ _____ ）日
4 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	（ _____ ）日
5 ベビーシッター	（ _____ ）日
6 その他（ _____ ）	（ _____ ）日
7 利用していない ⇒Q23-1へ	（ _____ ）日

→Q23で「7 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

Q23-1 現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|----------------------------------|
| 1 特に利用する必要がない | 2 利用したい事業が地域にない |
| 3 地域の事業の質に不安がある | 4 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない |
| 5 利用料がかかる・高い | 6 利用料がわからない |
| 7 自分が事業の対象者になるのかどうか
わからない | 8 事業の利用方法（手続き等）がわからない |
| 9 その他（ _____ ） | |

Q24 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

利用希望の有無	日数
1 利用したい⇒Q24-1へ	(_____) 日
① 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	(_____) 日
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	(_____) 日
③ 不定期の就労	(_____) 日
④ その他（ _____ ）	(_____) 日
2 利用する必要はない ⇒Q25へ	

→Q24で「1 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

Q24-1 Q24の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育園等） |
| 2 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等） |
| 3 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） |
| 4 その他（ _____ ） |

Q25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

1年間の対処方法	日数
1 あった	() 泊
① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった⇒Q25-1へ	() 泊
② 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業）	() 泊
③ ②以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	() 泊
④ 仕方なく子どもを同行させた	() 泊
⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 泊
⑥ その他 ()	() 泊

2 なかった

→Q25で「1 あった ①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

※①以外を選択した方はQ26へお進みください。

Q25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 非常に困難 2 どちらかという困難 3 特に困難ではない

9. お子さんが5歳以上（令和6年4月に小学校入学）である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

※該当しない方は、P19にあるQ30へお進みください。

Q26 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育所」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（1ヵ月のうち）
1 自宅	（ ）日
2 祖父母宅や友人・知人宅	（ ）日
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	（ ）日
4 放課後子ども教室	（ ）日
5 学童保育所	（ ）日 下校時から（ ）時まで
6 ファミリー・サポート・センター	（ ）日
7 放課後等デイサービス	（ ）日
8 その他（公民館、公園など）	（ ）日

Q27 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育所」の場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（1ヵ月のうち）
1 自宅	（ ）日
2 祖父母宅や友人・知人宅	（ ）日
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	（ ）日
4 放課後子ども教室	（ ）日
5 学童保育所	（ ）日 下校時から（ ）時まで
6 ファミリー・サポート・センター	（ ）日
7 放課後等デイサービス	（ ）日
8 その他（公民館、公園など）	（ ）日

→ Q26 または Q27 で「5 学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。

Q28 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、()内に数字でご記入ください。

(1) 土曜日

1 低学年(1~3年生)の間は利用したい 2 高学年(4~6年生)になっても利用したい 3 利用する必要はない

利用したい時間帯 ()時から ()時まで

(2) 日曜日・祝日

1 低学年(1~3年生)の間は利用したい 2 高学年(4~6年生)になっても利用したい 3 利用する必要はない

利用したい時間帯 ()時から ()時まで

Q29 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、()内に数字でご記入ください。

1 低学年(1~3年生)の間は利用したい 2 高学年(4~6年生)になっても利用したい 3 利用する必要はない

利用したい時間帯 ()時から ()時まで

10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

Q30 あて名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、「③取得していない」に○をつけた方はその理由を下の番号からご記入ください。

	母親	父親
①働いていなかった	1	1
②取得した(取得中である)	2	2
③取得していない	3	3

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

★育児休業を取らなかった理由

	母親	父親
(1)職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	1
(2)仕事が忙しかった	2	2
(3)(産休後に)すぐに仕事に復帰したかった	3	3
(4)仕事に戻るのが難しそうだった	4	4
(5)昇給・昇格などが遅れそうだった	5	5
(6)収入減となり、経済的に苦しくなる	6	6
(7)保育園などに預けることができた	7	7
(8)配偶者が育児休業制度を利用した	8	8
(9)配偶者が無職、またはご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9	9
(10)子育てや家事に専念するため退職した	10	10
(11)職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	11	11
(12)有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12	12
(13)育児休業を取れることを知らなかった	13	13
(14)産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	14	14
(15)その他()	15	15

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

→ Q30で「**②取得した(取得中である)**」に○をつけた方にうかがいます。

※該当しない方は、P22のQ31へお進みください。

Q30-1 育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。(ひとつだけ○)(母親・父親それぞれひとつに○)

	母親	父親
①育児休業を取ったあと、職場に復帰した	1	1
②現在も育児休業中である	2	2
③育児休業中に仕事をやめた	3	3

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

→ Q30-1で「**①育児休業を取ったあと、職場に復帰した**」に○をつけた方にうかがいます。

Q30-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。(母親・父親それぞれひとつに○)

職場復帰の時期	母親	父親
①年度初めの入園に合わせたタイミングだった	1	1
②それ以外だった	2	2

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

→ Q30-1で「①育児休業を取ったあと、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

Q30-3 育児休業から、「実際」にお子さんが何歳何か月の時に職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月の時まで取りたかったですか。()内に具体的な数字をご記入ください。(母親・父親それぞれひとつに○)

母親	父親
実際の取得期間 () 歳 () か月	実際の取得期間 () 歳 () か月
希望の取得期間 () 歳 () か月	希望の取得期間 () 歳 () か月

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

→ Q30-3で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

※該当しない方は、Q30-5へお進みください。

Q30-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(母親・父親それぞれひとつに○)

(1)「希望」より早く復帰した方	母親	父親
1 希望する保育園に入るため	1	1
2 配偶者や家族の希望があったため	2	2
3 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3	3
4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4	4
5 その他 ()	5	5
(2)「希望」より遅く復帰した方	母親	父親
1 希望する保育園に入れなかったため	1	1
2 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2	2
3 配偶者や家族の希望があったため	3	3
4 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4	4
5 その他 ()	5	5

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

→ Q30-1で「①育児休業を取ったあと、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

Q30-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(母親・父親それぞれひとつに○)

	母親	父親
1 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	1	1
2 利用した	2	2
3 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)	3	3

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

→ Q30-5 で「3 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。

Q30-6 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。あてはまる理由すべてに○をつけてください。（母親・父親それぞれひとつに○）

	母親	父親
1 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1	1
2 仕事が忙しかった	2	2
3 短時間勤務にすると給与が減額される	3	3
4 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる	4	4
5 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5	5
6 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	6	6
7 子育てや家事に専念するため退職した	7	7
8 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	8	8
9 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9	9
10 その他（ _____ ）	10	10

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

→ Q30-1 で「②現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

Q30-7 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に職場復帰しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（母親・父親それぞれひとつに○）

	母親	父親
1 1歳になるまで育児休業を取得したい	1	1
2 1歳になる前に職場復帰したい	2	2

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

11. 子育て支援全般について

Q31 希望時期に希望する子育てサービスを利用できましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|------------|
| 1 利用できた | 2 利用できなかった |
| 3 必要性がなかった | |

Q32 子育てをされていて不安に感じることはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1 急な残業・仕事が入ってしまう | 2 自分や子どもが病気やケガをしたとき |
| 3 家族の理解が得られない | 4 職場の理解が得られない |
| 5 子どもの他に面倒をみなければならない人がいる | 6 子どもと接する時間が少ない |
| 7 その他（ _____ ） | 8 特にない |

Q33 あなたは、ゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 はい 2 いいえ

Q34 子育てをされていて経済的に負担だと感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 生活費全般の確保 2 家賃の費用
3 ローンや借入の返済 4 携帯電話（スマートフォン）や通信費等の費用
5 保育料、学校等にかかる費用 6 将来の進学に向けた学資の準備
7 クラブ活動や習い事（スポーツ等）にかかる費用 8 学習塾の費用
9 医療にかかる費用 10 その他（ _____ ）
11 特になし

→Q4で「1 配偶者がいる」に○をつけた方にうかがいます。

Q35 配偶者の方は子育てに参加してくれますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 大いにある 2 わりとある
3 あまりない 4 ほとんどない

Q36 お子さんが高熱を出すなどの急病の場合、すぐに診てくれる医療機関が見つからず困ったことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 はい 2 いいえ

Q37 小児科・産婦人科オンライン相談を知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 知っている 2 知らない

小児科・産婦人科オンライン相談
医師などが妊娠中の悩みや出産のこと、産後の心身の悩み、子どもの健康、子育ての悩みや相談などオンラインで行えるサービスを行っています。



詳細については
QRコードから
ご確認できます。



Q38 子育てしやすい環境整備のために、市に期待することを各項目についてお答えください。①～⑱の項目ごとに、それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

項目	内容	積極的に進めるべき	今以上に充実すべき	現状を維持すべき	わからない
①	妊婦健診や乳幼児健診の充実	1	2	3	4
②	保育園の施設整備	1	2	3	4
③	学童保育所等の充実	1	2	3	4
④	認定こども園の整備	1	2	3	4
⑤	保育園・幼稚園の開所時間延長、休日保育の充実	1	2	3	4
⑥	病児・病後児保育の充実	1	2	3	4
⑦	公園など屋外で遊べる施設の充実	1	2	3	4
⑧	屋内で遊べる施設の充実	1	2	3	4
⑨	道路など子どもが安心して暮らせる環境整備	1	2	3	4
⑩	障がい児通所施設・障がい児相談窓口の整備	1	2	3	4
⑪	経済的支援の充実	1	2	3	4
⑫	3歳未満児保育の充実、保育士の資質向上	1	2	3	4
⑬	保育園、学童保育所の民間活力の導入	1	2	3	4
⑭	子育て不安や悩みの相談窓口の整備	1	2	3	4
⑮	幼稚園や保育園などの情報や相談窓口の整備	1	2	3	4
⑯	子育て情報（村上市メールマガジン等）の充実	1	2	3	4
⑰	妊娠や出産、子育てに関わるための意識啓発	1	2	3	4
⑱	小児救急医療体制の充実	1	2	3	4
⑲	各種手続きのオンライン化	1	2	3	4

小学校児童
保護者対象

第3期村上市子ども・子育て支援に関する

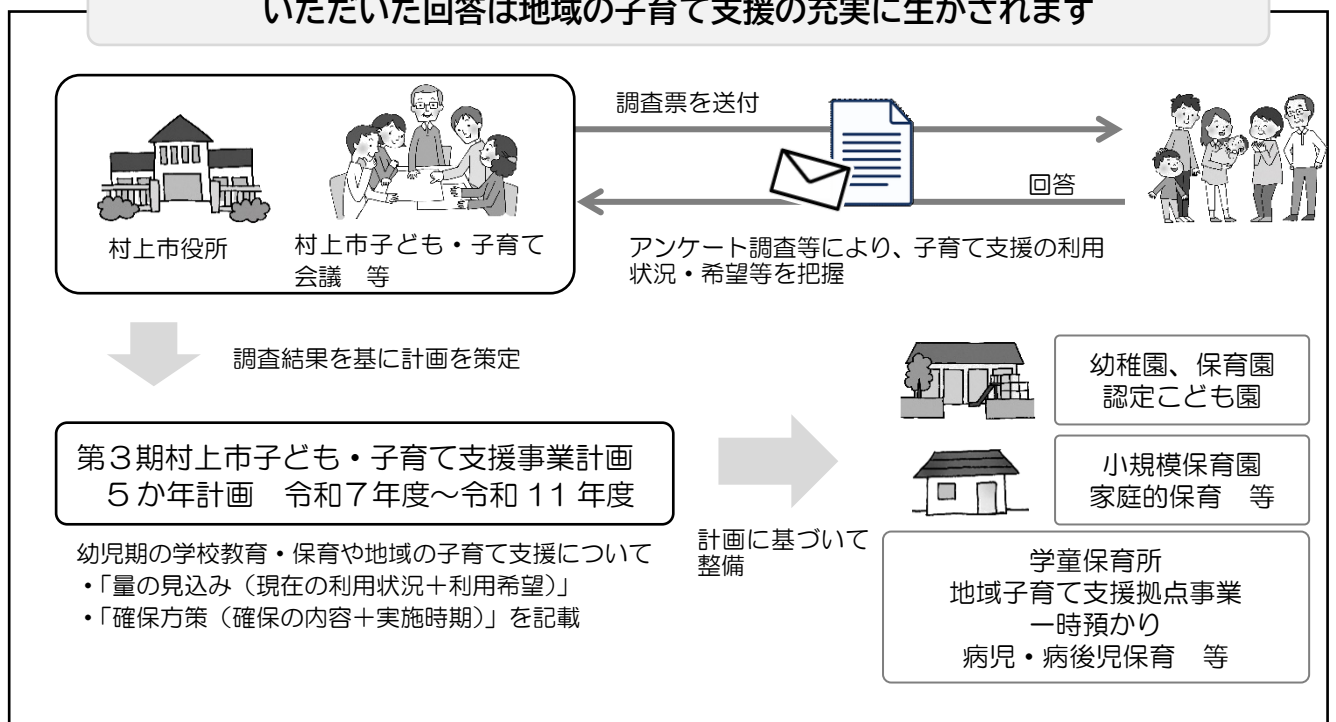
アンケート調査 ご協力をお願い

村上市では、本市に住むすべての子どもや保護者が誰一人取り残されることなく、未来に夢や希望をもつことができるようなまちの実現に向け、計画を策定し、様々な取り組みを行っています。

市の子育て施策の一層の充実に向け、市民のみなさまの幅広い意見をおうかがいし、まちづくりに反映するため、アンケート調査を実施しております。



いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



●調査の問い合わせ先

回答期限 ●月●日（●）まで

村上市 こども課 子育て政策室

TEL：0254-53-2111(内線 2510・2511)

ご回答にあたってのお願い

- この調査は小学生の子どもの保護者の方にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、子ども・子育て支援事業計画策定のみにご利用させていただき、それ以外の目的には利用いたしません。
- この調査票は無記名で行い、統計的に処理しますので、お答えいただいた方の内容が他に知られることはありません。そのため、調査票および返信用封筒には、お名前を記入する必要はありません。
- この調査は、封筒のあて名のお子さんを対象にしています。保護者の方がご記入ください。
- お父さん、お母さんそれぞれへの質問には、それぞれご本人が考えた答えをご記入ください。
- ひとり親家庭等で記入できない場合は、それぞれへの質問には答える必要はありません。
- お答えは調査票の該当する項目の番号を○印で囲んでください。
- また、回答欄にある（ ）には数値をご記入ください。数字は1枠に1字です。
- ご記入いただきました調査票は、封筒に入れて保育園または幼稚園の先生にお渡しください。郵送にて配布された世帯の方は、返信用封筒をご投函ください。なお、調査の実施につきましては、株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所に委託しています。

(用語の説明)

この調査票における用語の説明は以下のとおりです。

用語	内容
●認定こども園	幼稚園と保育園の機能をあわせ持ち、就学前の子供に幼児教育・保育を一体的に提供する機能と、地域に子育て支援を行う機能を持つ施設です。(村上いずみ園)
●幼稚園	満3歳～小学校就学までの幼児を教育し、心身の発達を助長するための教育施設です。(村上幼稚園)
●保育園	保護者が就労等の理由で保育に欠ける乳児又は幼児を保育することを目的とした児童福祉施設です。(市立保育園【市内には現在14園】)
●地域子育て支援センター	地域の子育て家庭に対する育児支援を行うため、子育て広場、相談事業、育児講座等を行います。未就学のお子さんとお家の方が対象になります。市内に7か所子育て支援センターを設置しています。
●児童館	気軽に利用できる子どもたちの遊び場です。遊びを通じて、体の成長やこころの安定を援助します。未就園のお子さんとお家の方が対象になります。(村上地域のみ。二之町・南町・岩船・瀬波の4児童館)
●学童保育所	放課後、保護者等が不在の小学生の健全育成と福祉の増進を図ります。全ての小学生が対象で、各地域合計で11か所の学童保育所を開設しています。
●放課後子ども教室	学校・家庭・地域が連携をして、地域全体の子どもを育む活動です。放課後や週末、長期休暇などに、さまざまな体験活動を実施しています。(村上小学校・村上南小学校・岩船小学校・瀬波小学校・山辺里小学校・保内小学校・金屋小学校・朝日みどり小学校・朝日さくら小学校・小川小学校・さんばく小学校)
●ファミリー・サポート・センター	市民が仕事と育児を両立させ、安心して働くことができる地域づくりを進めるため、「子育てを手伝ってほしい人【依頼会員】」と「子育てを手伝う人【提供会員】」が、それぞれ会員となり、地域で子育ての助け合いを有償で行う会員組織です。

1. お子さんご家族の状況について

Q1 お住まいの地域はどちらですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 村上地域 2 荒川地域 3 神林地域 4 朝日地域
5 山北地域

Q2 あて名のお子さんの生年月を教えてください。

平成 () 年 () 月

Q3 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 母親 2 父親 3 その他 ()

Q4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 配偶者がいる 2 配偶者はいない

Q5 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係であてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 父母ともに 2 主に母親 3 主に父親 4 主に祖父母
5 その他 ()

2. 子どもの育ちをめぐる環境について

Q6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をするうえで、気軽に相談できる人はいますか。もしくは、相談できる場所がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 いる／ある ⇒Q6-1へ

2 いない／ない ⇒Q7へ

→Q6で「1 いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

Q6-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 配偶者

2 祖父母等の親族

3 友人や知人

4 近所の人

5 子育て支援施設（地域子育て支援センター、児童館等）・NPO

6 保健所

7 小学校教諭

8 民生委員・児童委員

9 かかりつけの医師

10 市の子育て関連担当窓口

11 市の保健師

12 その他【例】ベビーシッター（_____）

Q7 子育て（教育を含む）をするうえで、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあれば良いとお考えでしょうか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 自宅訪問での指導

2 保健師や助産師による助言の機会提供

4 一時的な育児支援サービス

3 育児に関する情報発信

5 気軽に相談できる窓口の設置

6 育児に関する学びの場の提供

7 育児に関する悩みを共有できる場の提供

8 育児に関する地域のイベントや活動の実施

9 その他（_____）

3. あて名のお子さんの保護者の就労状況について

※保護者が両親以外の場合は、記入の必要はありません。

Q8 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（母親・父親それぞれひとつに○）

		就労状況・就労希望					
		1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	6. これまで就労したことがない
① 現在の状況	母親	1	2	3	4	5	6
	父親	1	2	3	4	5	6

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

※フルタイム：（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

※パート・アルバイト等：フルタイム以外での就労

→Q8で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

Q8-1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（母親・父親それぞれに記入）

母親	1週間あたり（ ）日程度	1日あたり（ ）時間程度
父親	1週間あたり（ ）日程度	1日あたり（ ）時間程度

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

→Q8で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

Q8-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（母親・父親それぞれに記入）

母親	家を出る時刻：（ ）時	帰宅時刻：（ ）時
父親	家を出る時刻：（ ）時	帰宅時刻：（ ）時

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

→Q8で「3」「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にかがいます。

※該当しない方は、Q9へお進みください。

Q8-3 フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(母親・父親それぞれひとつに○)

	母親	父親
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	3	3
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

→Q8で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。

※該当しない方は、Q9へお進みください。

Q8-4 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。(母親・父親それぞれひとつに○)

	母親	父親	記述欄
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1	1	
1年より先、一番下の子どもが()歳になった頃に就労したい	2	2	()歳
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい ⇒「1. 希望する就労形態」へ	3	3	
就労したいができない	4	4	理由 ()

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

1. 希望する就労形態

母親	①フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)	②パートタイム、アルバイト等(「①」以外)
	1週あたり:()日	1日あたり:()時間
父親	①フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)	②パートタイム、アルバイト等(「①」以外)
	1週あたり:()日	1日あたり:()時間

※ひとり親世帯の場合、どちらかあてはまる方のみのご回答で結構です。

Q9 新型コロナウイルス感染症の影響で働き方に変化がありましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 変わらない（同じ働き方をしている、または、もともと働いていない）
- 2 正社員から別の就労形態に変更した
- 3 職場は変えないまま、時短勤務に変更した
- 4 職場は変えないまま、リモート勤務に変更した
- 5 正社員以外の就労形態から、別の就労形態に変更した
- 6 起業した
- 7 就労していない状態から、働き始めた
- 8 その他（ _____ ）

4. あて名のお子さんの病気の際の対応や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

Q10 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。

- 1 あった⇒Q10-1へ
- 2 なかった⇒Q11へ

→Q10で「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。

Q10-1 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

1年間の対処方法	日数
1 父親が休んだ	()日
2 母親が休んだ	()日
3 (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	()日
4 父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	()日
5 病児・病後児の保育を利用した	()日
6 ベビーシッターを利用した	()日
7 ファミリー・サポート・センターを利用した	()日
8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()日
9 その他(_____)	()日

→Q10-1で「1」「2」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

Q10-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- 1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したい 2 利用したいと思わない

⇒Q10-3へ

⇒Q10-4へ

() 日

→Q10-2で「1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

Q10-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われ
れますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4 その他（)

⇒Q11へ

→Q10-2で「2 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。

Q10-4 そう思われる理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 2 地域の事業の質に不安がある
3 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
4 利用料がかかる・高い
5 利用料がわからない 6 親が仕事を休んで対応する
7 その他（)

⇒Q11へ

Q11 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

	利用希望の有無	日数
1	利用したい	() 日
	① 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	() 日
	② 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	() 日
	③ 不定期の就労	() 日
	④ その他 ()	() 日
2	利用する必要はない	

Q12 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1	あった	() 泊
	① （同居者を含む）親族・知人にみてもらった⇒Q12-1へ	() 泊
	② 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業）	() 泊
	③ ②以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	() 泊
	④ 仕方なく子どもを同行させた	() 泊
	⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 泊
	⑥ その他 ()	() 泊
2	なかった	

→Q12で「1 あった ①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

※①以外を選択した方はQ13へお進みください。

Q12-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 非常に困難 2 どちらかというと困難 3 特に困難ではない

5. あて名のお子さんの放課後の過ごし方について

Q13 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する月あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育所」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（1ヵ月のうち）
1 自宅	（ ）日
2 祖父母宅や友人・知人宅	（ ）日
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	（ ）日
4 放課後子ども教室	（ ）日
5 学童保育所	（ ）日 下校時から（ ）時まで
6 ファミリー・サポート・センター	（ ）日
7 放課後等デイサービス	（ ）日
8 その他（公民館、公園など）	（ ）日

→Q13で「5 学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。

Q13-1 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。①②それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に数字でご記入ください。

①土曜日 1 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3 利用する必要はない

利用したい時間帯 （ ）時から （ ）時まで

②日曜日・祝日 1 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3 利用する必要はない

利用したい時間帯 （ ）時から （ ）時まで

Q14 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、()内に数字でご記入ください。

- 1 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2 高学年(4～6年生)になっても利用したい 3 利用する必要はない

利用したい時間帯 ()時から ()時まで

6. 学童保育所やファミリー・サポート・センターの利用 について

Q15 あて名のおさんは、現在、学童保育所を利用していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 利用している 2 利用していない ⇒Q15-1へ

→Q15で「2 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

※該当しない方は、Q16へお進みください。

Q15-1 利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 現在、就労していないから
2 就労しているが、学童保育所を知らなかったから
3 就労しているが、近くに学童保育所がないから
4 就労しているが、学童保育所に空きがないから
5 就労しているが、学童保育所の開所時間が短いから
6 就労しているが、学童保育所には利用料がかかるから
7 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから
8 就労しているが、放課後の短時間ならば子どもだけでも大丈夫だと思うから
9 就労しているが、他の施設に預けているから
10 その他()

Q15-2 あて名のお子さんについて、今後、学童保育所を利用したいとお考えですか。
あてはまる番号1つに○をつけ、該当する（ ）内には数字をご記入ください。

- 1 利用したい ⇒ () 日 ⇒うち土日の利用が 1 ある 2 ない
2 今後も利用しない

→Q15-2で「1 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

※該当しない方は、Q16へお進みください。

Q15-3 利用したい理由は何ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

お子さんの身の周りの世話を主にしている方が

- 1 現在就労している 2 就労予定がある／求職中である
3 そのうち就労したいと考えている 4 親族の介護や手伝いが必要なため
5 病気や障がいがある 6 学生である／就学したい
7 就労していないが、子どもの教育のため
8 その他 ()

Q16 あて名のお子さんの小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 学童保育所を利用したい ⇒小学 () 年生まで利用したい
2 クラブ活動など習い事をさせたい
3 放課後等デイサービスを利用したい
4 利用を希望するサービスは特にな
5 該当しない
6 その他 ()

Q17 村上市ファミリー・サポート・センターを知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 知っている 2 知らない

村上市ファミリー・サポート・センター

村上市ファミサポは、現在、依頼会員・提供会員を募集中です。すぐに利用できるように事前の登録をお勧めします。詳しくは、下記までお問い合わせください。(月～金 8:30～17:15)

こども課子育て支援室(53-2111 内線 2543) または、各子育て支援センター



詳細については
QRコードから
ご確認できます。



Q17-1 村上市ファミリー・サポート・センターをどのような目的で利用したいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 主たる保育サービスとして利用する
- 2 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用する
- 3 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用する
- 4 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用する
- 5 小学校・学童保育所等の送り迎えに利用する
- 6 習い事の送り迎えに利用する
- 7 その他の目的で利用する
- 8 利用したくない、または利用する必要がない

7. 子育てやお子さんの日常生活について

Q18 希望時期に希望する子育てサービスを利用できましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 利用できた
- 2 利用できなかった
- 3 必要性がなかった

Q19 子育てをされていて不安に感じることはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 急な残業・仕事が入ってしまう
- 2 自分や子どもが病気やケガをしたとき
- 3 家族の理解が得られない
- 4 職場の理解が得られない
- 5 子どもの他に面倒をみなければならない人がいる
- 6 子どもと接する時間が少ない
- 7 その他 (_____)

Q20 あなたは、ゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 はい
- 2 いいえ

Q21 あなたは、子育てに自信がもてないことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 大いにある
- 2 わりとある
- 3 あまりない
- 4 ほとんどない

Q22 この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

-
- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 しつけのし過ぎがあった | 2 感情的に叩いた |
| 3 子どもだけを家に残して外出した | 4 長時間食事を与えなかった |
| 5 感情的な言葉で怒鳴った | 6 子どもの口をふさいだ |
| 7 子どもを激しく揺さぶった | 8 いずれも該当しない |

→Q4で「**1 配偶者がいる**」に○をつけた方にうかがいます。

※該当しない方は、Q25へお進みください。

Q23 配偶者の方は子育てに参加してくれますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

-
- | | |
|--------------|------------|
| 1 よくやってくれる | 2 時々やってくれる |
| 3 ほとんどしてくれない | |

Q24 配偶者の方はお子さんとよく遊んでいますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

-
- | | |
|------------|-------------|
| 1 よく遊んでいる | 2 時々遊ぶことがある |
| 3 ほとんど遊ばない | |

Q25 お子さんは、1日3回以上、間食（甘味食品・飲料）をすることがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

-
- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

Q26 お子さんは、毎日朝食を食べていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

-
- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

Q27 お子さんと一緒に食事をとりますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

-
- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 子どもたちだけで食べることが多い | 2 子ども一人で食べるが多い |
| 3 家族で食べるが多い | |

Q28 お子さんの食事に関して特に気を付けていることはありますか。あてはまる番号3つまでに○をつけてください。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 3食きちんと食べること | 2 好き嫌いをなくすこと |
| 3 バランスのよい食事 | 4 食事のマナー |
| 5 家族揃って食べること | 6 その他 (_____) |

Q29 お子さんが高熱を出すなどの急病の場合、すぐに診てくれる医療機関が見つからず困ったことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

Q30 小児科・産婦人科オンライン相談を知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

小児科・産婦人科オンライン相談

医師などが妊娠中の悩みや出産のこと、産後の心身の悩み、子どもの健康、子育ての悩みや相談などオンラインで行えるサービスを行っています。



詳細についてはQRコードからご確認できます。



Q31 あて名のお子さんが寝付く時間はだいたい何時頃ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(平日・休日それぞれひとつに○)

	平日	休日
1 20時以前	1	1
2 20時台	2	2
3 21時台	3	3
4 22時台	4	4
5 23時台	5	5
6 24時以降	6	6

Q32 あて名のお子さんは1日平均何時間程度テレビを見ますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(平日・休日それぞれひとつに○)

		平日	休日
1	見ない	1	1
2	1時間以内	2	2
3	1時間程度	3	3
4	2時間程度	4	4
5	3時間程度	5	5
6	4時間程度	6	6
7	5時間程度	7	7
8	6時間以上	8	8

Q33 あて名のお子さんは1日平均何時間程度パソコンやタブレット、スマートフォン、ゲーム端末を使用していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(平日・休日それぞれひとつに○)

		平日	休日
1	しない	1	1
2	1時間以内	2	2
3	1時間程度	3	3
4	2時間程度	4	4
5	3時間程度	5	5
6	4時間程度	6	6
7	5時間程度	7	7
8	6時間以上	8	8

Q34 あて名のお子さんが外遊びをする時間は1日平均何時間程度ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(平日・休日それぞれひとつに○)

		平日		休日	
		①夏場	②冬場	①夏場	②冬場
1	しない	1	1	1	1
2	1時間以内	2	2	2	2
3	1時間程度	3	3	3	3
4	2時間程度	4	4	4	4
5	3時間程度	5	5	5	5
6	4時間程度	6	6	6	6
7	5時間程度	7	7	7	7
8	6時間以上	8	8	8	8

Q35 あて名のお子さんの学校以外での学習時間は1日平均何時間程度ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(平日・休日それぞれひとつに○)

	平日	休日
1 しない	1	1
2 30分以内	2	2
3 1時間程度	3	3
4 1時間30分程度	4	4
5 2時間程度	5	5
6 2時間30分程度	6	6
7 3時間程度	7	7
8 3時間30分程度	8	8
9 4時間程度	9	9
10 4時間30分程度	10	10
11 5時間以上	11	11

Q36 子育てをされていて経済的に負担だと感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1 生活費全般の確保 | 2 家賃の費用 |
| 3 ローンや借入の返済 | 4 携帯電話(スマートフォン)や通信費等の費用 |
| 5 保育料、学校等にかかる費用 | 6 将来の進学に向けた学資の準備 |
| 7 クラブ活動や習い事(スポーツ等)にかかる費用 | 8 学習塾の費用 |
| 9 医療にかかる費用 | 10 その他(_____) |
| 11 特にない | |

Q37 子育てしやすい環境整備のために、市に期待することを各項目についてお答えください。①～⑱の項目ごとに、それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

項目	内容	積極的に進めるべき	今以上に充実すべき	現状を維持すべき	わからない
①	妊婦健診や乳幼児健診の充実	1	2	3	4
②	保育園の施設整備	1	2	3	4
③	学童保育所等の充実	1	2	3	4
④	認定こども園の整備	1	2	3	4
⑤	保育園・幼稚園の開所時間延長、休日保育の充実	1	2	3	4
⑥	病児・病後児保育の充実	1	2	3	4
⑦	公園など屋外で遊べる施設の充実	1	2	3	4
⑧	屋内で遊べる施設の充実 F	1	2	3	4
⑨	道路など子どもが安心して暮らせる環境整備	1	2	3	4
⑩	障がい児通所施設・障がい児相談窓口の整備	1	2	3	4
⑪	経済的支援の充実	1	2	3	4
⑫	3歳未満児保育の充実、保育士の資質向上	1	2	3	4
⑬	保育園、学童保育所の民間活力の導入	1	2	3	4
⑭	子育て不安や悩みの相談窓口の整備	1	2	3	4
⑮	幼稚園や保育園などの情報や相談窓口の整備	1	2	3	4
⑯	子育て情報（村上市メールマガジン等）の充実	1	2	3	4
⑰	妊娠や出産、子育てに関わるための意識啓発	1	2	3	4
⑱	小児救急医療体制の充実	1	2	3	4
⑲	各種手続きのオンライン化	1	2	3	4

8. 自由回答

Q38 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
同封の封筒に入れて、学校の先生までご提出ください。
なお、封筒には3つ折りにして入れてください。

村上市公式 LINE アカウント

村上市 LINE 公式アカウントをリニューアルしました。欲しい情報を選択できる「受信設定」や道路の陥没をスマホから連絡できる「通報機能」などの機能を追加しました。ぜひ、「友だち」に追加してご活用ください。



詳細については
QR コードから
ご確認できます。



(2) 第2期村上市子ども・子育て支援事業計画の実績について

第4章 子ども・子育て支援事業の実施計画実績

(2) 児童数の推計

(各年：4月1日現在)

年齢	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
0歳	244人	237人	269人	231人	273人	224人	239人	218人	219人	210人	
1歳	325人	244人	259人	237人	271人	231人	276人	224人	244人	218人	
2歳	335人	325人	336人	244人	268人	237人	272人	231人	283人	224人	
3歳	339人	335人	339人	325人	331人	244人	270人	237人	273人	231人	
4歳	370人	339人	344人	335人	344人	325人	336人	244人	277人	237人	
5歳	363人	370人	368人	339人	344人	335人	346人	325人	338人	244人	
0～5	1,976人	1,850人	1,915人	1,711人	1,831人	1,596人	1,739人	1,479人	1,634人	1,364人	
6～11	2,403人	2,314人	2,326人	2,300人	2,318人	2,260人	2,281人	2,186人	2,221人	2,119人	
12～17	3,002人	2,785人	2,890人	2,584人	2,759人	2,417人	2,607人	2,323人	2,546人	2,248人	
総人口	59,822人	58,889人	58,827人	57,943人	57,825人	56,996人	56,700人	56,039人	55,490人	55,063人	

(3) 幼児期の教育・保育の量の見込み

①3号認定(0歳)

●村上地区

(各年：4月1日現在)

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	29人	32人	32人	35人	34人	28人	37人	33人	39人	
提供量合計	55人	55人	55人	55人	55人	55人	55人	55人	55人	
確保対策	保育園	43人	43人	43人	43人	43人	43人	43人	43人	43人
	認定こども園	3人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	3人
	地域型保育	9人	9人	9人	9人	9人	9人	9人	9人	9人
	認可外保育施設									
	企業主導型保育施設の地域枠									

●荒川地区

(各年：4月1日現在)

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	9人	10人	10人	14人	12人	7人	12人	8人	13人	
提供量合計	19人	19人	19人	19人	19人	19人	19人	19人	19人	
確保対策	保育園	19人	19人	19人	19人	19人	19人	19人	19人	19人
	認定こども園									
	地域型保育									
	認可外保育施設									
	企業主導型保育施設の地域枠									

●神林地区

(各年：4月1日現在)

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	13人	10人	14人	8人	15人	8人	17人	6人	17人	
提供量合計	17人	17人	17人	17人	17人	17人	17人	17人	17人	
確保対策	保育園	17人	17人	17人	17人	17人	17人	17人	17人	17人
	認定こども園									
	地域型保育									
	認可外保育施設									
	企業主導型保育施設の地域枠									

●朝日地区

(各年：4月1日現在)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	10人	8人	10人	16人	10人	9人	11人	11人	11人	
提供量合計	44人	44人	44人	44人	44人	44人	44人	44人	44人	
確保対策	保育園	39人	39人	39人	39人	39人	39人	39人	39人	
	認定こども園									
	地域型保育	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	
	認可外保育施設									
	企業主導型保育施設の地域枠									

●山北地区

(各年：4月1日現在)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	2人	2人	2人	2人	2人	1人	2人	2人	2人	
提供量合計	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	
確保対策	保育園	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	
	認定こども園									
	地域型保育									
	認可外保育施設									
	企業主導型保育施設の地域枠									

②3号認定(1~2歳)

●村上地区

(各年：4月1日現在)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	194人	190人	180人	191人	183人	203人	185人	204人	188人	
提供量合計	232人	232人	232人	232人	232人	232人	232人	232人	232人	
確保対策	保育園	178人	178人	178人	178人	178人	178人	178人	178人	
	認定こども園	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	
	地域型保育	33人	33人	33人	33人	33人	33人	33人	33人	
	認可外保育施設									
	企業主導型保育施設の地域枠									

●荒川地区

(各年：4月1日現在)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	66人	67人	61人	67人	62人	68人	63人	72人	63人	
提供量合計	87人	87人	87人	87人	87人	87人	87人	87人	87人	
確保対策	保育園	87人	87人	87人	87人	87人	87人	87人	87人	
	認定こども園									
	地域型保育									
	認可外保育施設									
	企業主導型保育施設の地域枠									

●神林地区

(各年：4月1日現在)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	68人	70人	57人	64人	57人	65人	58人	60人	59人	
提供量合計	68人	70人	68人	70人	68人	68人	68人	68人	68人	
確保対策	保育園	68人	70人	68人	70人	68人	68人	68人	68人	
	認定こども園									
	地域型保育									
	認可外保育施設									
	企業主導型保育施設の地域枠									

●朝日地区

(各年：4月1日現在)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	61人	70人	46人	57人	45人	64人	44人	65人	43人	
提供量合計	95人	95人	95人	95人	95人	95人	95人	95人	95人	
確保対策	保育園	81人	81人	81人	81人	81人	81人	81人	81人	
	認定こども園									
	地域型保育	14人	14人	14人	14人	14人	14人	14人	14人	
	認可外保育施設 企業主導型保育 施設の地域枠									

●山北地区

(各年：4月1日現在)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	21人	23人	15人	16人	14人	22人	15人	15人	16人	
提供量合計	25人	25人	25人	25人	25人	25人	25人	25人	25人	
確保対策	保育園	25人	25人	25人	25人	25人	25人	25人	25人	
	認定こども園									
	地域型保育									
	認可外保育施設 企業主導型保育 施設の地域枠									

③保育利用率の目標値設定

(各年：4月1日現在)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	472人	482人	427人	470人	436人	475人	444人	476人	452人	
保育利用率	58.6%	55.8%	60.0%	57.9%	63.0%	60.4%	66.0%	63.8%	69.3%	
推計児童数	806人	864人	712人	812人	692人	787人	673人	746人	652人	

④2号認定（3～5歳）

●村上地区

(各年：4月1日現在)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	414人	397人	410人	403人	366人	379人	332人	352人	302人	
幼児期の学校教育の 利用希望が強い										
	上記以外	414人	397人	410人	403人	366人	379人	332人	352人	302人
提供量合計	484人	484人	484人	475人	484人	475人	484人	475人	484人	
確保対策	保育園	439人	439人	439人	439人	439人	439人	439人	439人	
	認定こども園	45人	45人	45人	36人	45人	36人	45人	36人	
	地域型保育									
	認可外保育施設									
	企業主導型保育 施設の地域枠									
	上記以外									

●荒川地区

(各年：4月1日現在)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	201人	199人	170人	175人	158人	164人	140人	147人	129人	
幼児期の学校教育の 利用希望が強い										
	上記以外	201人	199人	170人	175人	158人	164人	140人	147人	129人
提供量合計	224人	224人	224人	224人	224人	224人	224人	224人	224人	
確保対策	保育園	224人	224人	224人	224人	224人	224人	224人	224人	
	認定こども園									
	地域型保育									
	認可外保育施設									
	企業主導型保育 施設の地域枠									
	上記以外									

●神林地区

(各年：4月1日現在)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	148人	156人	144人	156人	130人	152人	118人	157人	100人	
幼児期の学校教育の 利用希望が強い										
上記以外	148人	156人	144人	156人	130人	152人	118人	157人	100人	
提供量合計	205人	203人	205人	203人	205人	205人	205人	205人	205人	
確保対策	保育園	205人	203人	205人	203人	205人	205人	205人	205人	
	認定こども園									
	地域型保育									
	認可外保育施設									
	企業主導型保育 施設の地域枠									
	上記以外									

●朝日地区

(各年：4月1日現在)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	121人	127人	121人	124人	110人	115人	93人	102人	74人	
幼児期の学校教育の 利用希望が強い										
上記以外	121人	127人	121人	124人	110人	115人	93人	102人	74人	
提供量合計	160人	160人	160人	160人	160人	160人	160人	160人	160人	
確保対策	保育園	160人	160人	160人	160人	160人	160人	160人	160人	
	認定こども園									
	地域型保育									
	認可外保育施設									
	企業主導型保育 施設の地域枠									
	上記以外									

●山北地区

(各年：4月1日現在)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	50人	53人	47人	58人	43人	54人	37人	48人	28人	
幼児期の学校教育の 利用希望が強い										
上記以外	50人	53人	47人	58人	43人	54人	37人	48人	28人	
提供量合計	60人	60人	60人	60人	60人	60人	60人	60人	60人	
確保対策	保育園	60人	60人	60人	60人	60人	60人	60人	60人	
	認定こども園									
	地域型保育									
	認可外保育施設									
	企業主導型保育 施設の地域枠									
	上記以外									

⑤1号認定（3～5歳）

●市内全域

(各年：4月1日現在)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	100人	109人	95人	97人	90人	79人	85人	76人	80人	
提供量合計	167人	167人	167人	167人	167人	155人	167人	155人	167人	
確保対策	幼稚園									
	認定こども園	27人	27人	27人	27人	27人	15人	27人	15人	27人
	確認を受けない幼稚園	140人	140人	140人	140人	140人	140人	140人	140人	140人

3 地域子ども・子育て支援事業

(1) 利用者支援事業

基本型・特定型

(各年：4月1日現在)

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	0か所	0か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	
確保方策(実施箇所数)	0か所	0か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	

母子保健型

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	0か所	0か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	
確保方策(実施箇所数)	0か所	0か所	1か所	5か所	1か所	5か所	1か所	5か所	1か所	

(2) 地域子育て支援拠点施設

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	1,952人回	1,046人回	1,813人回	899人回	1,684人回	888人回	1,565人回		1,454人回	
確保施設数	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所		6か所	
確保方策提供量	2,381人回	2,381人回	2,381人回	2,381人回	2,381人回	2,381人回	2,381人回		2,381人回	

(3) 妊婦健康診査

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	2,844人	3,187人	2,772人	1,754人	2,688人	2,838人	2,616人		2,520人	
確保方策	医療機関委託	医療機関委託	医療機関委託	医療機関委託	医療機関委託	医療機関委託	医療機関委託		医療機関委託	

(4) 乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	237人	268人	231人	237人	224人	221人	218人		210人	
確保方策	保健師訪問	保健師訪問	保健師訪問	保健師訪問	保健師訪問	保健師訪問	保健師訪問		保健師訪問	

(5) 養育支援訪問事業

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	110人	44人	112人	45人	114人	54人	116人		118人	
確保方策	保健師・相談員訪問	保健師・相談員訪問	保健師・相談員訪問	保健師・相談員訪問	保健師・相談員訪問	保健師・相談員訪問	保健師・相談員訪問		保健師・相談員訪問	

(6) 子育て短期支援事業(ショートステイ)

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	0人回	0人回	0人回	0人回	0人回	0人回	0人回		0人回	
確保方策	0人回	0人回	0人回	0人回	0人回	0人回	0人回		0人回	

(7) 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	473人日	738人日	448人日	1,662人日	424人日	2,260人日	402人日		380人日	
就学前児童	157人日	641人日	149人日	1,097人日	141人日	608人日	134人日		127人日	
修学児童	316人日	97人日	299人日	565人日	283人日	1,652人日	268人日		253人日	
確保方策 提供量合計	473人日	738人日	448人日	1,662人日	424人日	2,260人日	402人日		380人日	

(8) 一時預かり事業

①一時預かり事業(幼稚園型)

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	1,182人日	1,594人日	1,139人日	1,390人日	1,075人日	1,066人日	1,032人日		968人日	
1号認定	1,182人日	1,594人日	1,139人日	1,390人日	1,075人日	1,066人日	1,032人日		968人日	
確保施設数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所		1か所	
確保対策提供量合計	2,150人日	2,150人日	2,150人日	2,150人日	2,150人日	2,150人日	2,150人日		2,150人日	

②一時預かり事業（幼稚園型以外）

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	1,930人日	542人日	1,900人日	1,073人日	1,815人日	859人日	1,790人日		1,710人日	
提供量合計	5,800人日	5,800人日	5,800人日	4,800人日	5,800人日	4,320人日	5,800人日		5,800人日	
確保 一時預かり事	5,800人日	5,800人日	5,800人日	4,800人日	5,800人日	4,320人日	5,800人日		5,800人日	
対策 上記以外	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日		0人日	

(9) 延長保育事業

●市内全域

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	120人	116人	120人	186人	120人	234人	120人		120人	
確保 施設数	1箇所	1箇所	1箇所	3箇所	1箇所	3箇所	1箇所		1箇所	
対策 提供量合計	120人	116人	120人	186人	120人	234人	120人		120人	

(10) 病児・病後児保育事業

●市内全域

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	1,037人日	315人日	1,363人日	819人日	1,359人日	1,598人日	1,617人日		1,612人日	
確保 施設数	4か所	4か所	4か所	6か所	4か所	6か所	5か所		5か所	
対策 提供量合計	2,161人日	2,161人日	3,159人日	3,209人日	3,146人日	3,689人日	3,675人日		3,660人日	

(11) 放課後児童健全育成事業（学童保育所）

●村上地区

(各年：4月1日現在)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	232人	284人	226人	261人	228人	320人	215人	253人	209人	
1年生	76人	83人	73人	67人	74人	97人	68人	57人	67人	
2年生	70人	90人	69人	78人	69人	81人	68人	91人	65人	
3年生	53人	58人	52人	59人	52人	70人	48人	51人	47人	
4年生	30人	43人	29人	40人	30人	53人	28人	41人	27人	
5年生	2人	7人	2人	15人	2人	17人	2人	10人	2人	
6年生	1人	3人	1人	2人	1人	2人	1人	3人	1人	
確保 施設数	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所	
対策 提供量合計	290人	290人	290人	290人	290人	290人	290人	290人	290人	

●荒川地区

(各年：4月1日現在)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	90人	118人	90人	113人	86人	103人	80人	113人	74人	
1年生	34人	28人	34人	41人	33人	24人	30人	25人	28人	
2年生	25人	30人	25人	27人	24人	37人	22人	29人	21人	
3年生	21人	31人	21人	19人	20人	20人	19人	32人	17人	
4年生	6人	18人	6人	18人	5人	10人	5人	20人	4人	
5年生	1人	9人	1人	6人	1人	9人	1人	4人	1人	
6年生	3人	2人	3人	2人	3人	2人	3人	3人	3人	
確保 施設数	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	
対策 提供量合計	90人	90人	90人	90人	90人	90人	90人	90人	90人	

●神林地区

(各年：4月1日現在)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	43人	66人	42人	74人	41人	76人	40人	93人	39人	
1年生	12人	18人	12人	21人	11人	17人	11人	24人	11人	
2年生	13人	16人	12人	19人	12人	22人	12人	23人	11人	
3年生	11人	16人	11人	12人	11人	14人	10人	22人	10人	
4年生	2人	11人	2人	14人	2人	10人	2人	10人	2人	
5年生	2人	2人	2人	6人	2人	10人	2人	8人	2人	
6年生	3人	3人	3人	2人	3人	3人	3人	6人	3人	
確保 施設数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	
対策 提供量合計	45人	45人	45人	45人	45人	45人	45人	45人	45人	

●朝日地区

(各年：4月1日現在)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	40人	57人	39人	51人	38人	56人	37人	52人	36人	
1年生	10人	20人	10人	16人	9人	11人	9人	17人	9人	
2年生	11人	10人	11人	14人	11人	17人	10人	13人	10人	
3年生	12人	12人	11人	7人	11人	14人	11人	13人	10人	
4年生	4人	11人	4人	9人	4人	4人	4人	6人	4人	
5年生	3人	1人	3人	4人	3人	6人	3人	2人	3人	
6年生	0人	3人	0人	1人	0人	4人	0人	1人	0人	
確保 施設数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	
対策 提供量合計	40人	40人	40人	40人	40人	40人	40人	40人	40人	

●山北地区

(各年：4月1日現在)

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
見込み量	27人	43人	26人	44人	22人	27人	22人	45人	21人	
1年生	4人	10人	6人	9人	4人	6人	4人	8人	5人	
2年生	7人	11人	4人	10人	6人	8人	4人	10人	4人	
3年生	7人	5人	7人	12人	4人	4人	6人	8人	4人	
4年生	2人	0人	3人	3人	3人	6人	2人	7人	3人	
5年生	4人	14人	2人	0人	3人	3人	3人	10人	2人	
6年生	3人	3人	4人	10人	2人	0人	3人	2人	3人	
確保 施設数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	
対策 提供量合計	60人	60人	60人	60人	60人	60人	60人	60人	60人	

第1回 村上市子ども・子育て会議での意見等

No	意見の要旨	調査票への反映に関する事務局対応
①	日本語の読めない方への配慮について教えていただけませんか。	必要な方に向けて個別に対応いたします。
②	<p>①放課後等デイサービスを利用している方の回答欄がどこになるのでしょうか。その他の欄は設けてありますが、放課後等デイサービスを利用していることを示すための特定の欄が存在しないように見受けられました。</p> <p>【類似意見】</p> <p>②放課後の過ごし方に関する設問において、放課後等デイサービスの選択肢がどこに該当するのかわからないかと思われまます。</p> <p>【類似意見】</p> <p>③当市では放課後等デイサービスを利用している子供が非常に多いと感じます。したがって、それを記載する場所が必要であり放課後等デイサービスだけでなく、他の選択肢も含め、事務局と相談の上でどのような文言で記載するか検討をお願いいたします。</p>	<p>「放課後等デイサービス」について、以下設問の選択肢に追加いたしました。</p> <p>【未就学保護者用】 Q26、Q27</p> <p>【小学生保護者用】 Q13、Q16</p>
③	調査対象者（あて名のお子さん）の対象を教えてください	<p>宛名のお子さんとは発送する際のラベルに記載しているお子さんが対象になります。</p> <p>また、ラベルに印字する際は、「●●様の保護者様」と記載いたします。</p> <p>【宛名ラベルイメージ】</p> <div data-bbox="1429 1214 1906 1428" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>〒 郵便番号</p> <p>住所</p> <p>●●様の保護者様</p> </div>

No	意見の要旨	調査票への反映に関する事務局対応
④	<p>複数のお子さんを抱える世帯の場合などを考慮した調査票の配布方法を教えてください。</p> <p>※関連する意見 令和 11 年度までは時間がかかる計画となるため、例えば小学 6 年生の子供を対象にした場合、該当しないのではないかと</p>	<p>調査対象のお子さんについては、市で指定させていただきます。また、2・3 人兄弟の場合、一番上のお子さんのお名前でご案内をする予定でしたが、頂いたご意見を参考にさせて頂き、下のお子さんを調査対象にしました。</p>
⑤	<p>小学生向けの調査票の設問「子育てやお子さんの日常生活について」が未就学児童保護者用の調査票に含まれていない。</p> <p>【類似意見】 設問内容が、未就学児にとっても重要だと思われるため、未就学児用にも掲載してもよいと思いました。</p> <p>【類似意見】 小学校保護者用 p11 の問 32 を就学前児童保護者用にも追加してほしい</p>	<p>以下の設問を就学前児童保護者対象の調査票に追加いたしました。</p> <p>Q35：「配偶者の方は子育てに参加してくれますか」 Q36：「お子さんが高熱を出すなどの急病の場合、すぐに診てくれる医療機関が見つからず困ったことがありますか。」 Q37：「小児科・産婦人科オンライン相談を知っていますか。」</p>
⑥	<p>一つの提案として、小学生以上の質問 23 にある「ゆったりとした時間を過ごせるか」について、未就学児の方にも設問として追加することを検討していただきたいです。</p>	<p>就学前児童保護者対象用の Q33 に設問を追加いたしました。</p>
⑦	<p>選択式の質問は答えやすいと感じますが、設問数が多いので、多忙な保護者にとって瞬時に理解しやすい内容ではないかもしれません。配布されたアンケートを保護者の立場で受け取った場合、理解しにくいと感じることもあるかと単純に思います。</p> <p>【類似意見①】 どれが設問なのか理解しづらいという印象があります。文言の整理が必要だと感じました。</p> <p>【類似意見②】 調査票全体の内容が多く回答が大変であると感じた。設問内容が同じであれば、1 つの設問として合わせるのはいかがか。</p>	<p>以下に通り修正いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内容を見やすくするため、調査票全体のレイアウトを調整いたしました。 ●回答者を限定する設問について、条件文の文言を強調いたしました。 ●「父親・母親」、「休日・平日」などの両方を回答頂く場合の設問を 1 つに統合いたしました。

No	意見の要旨	調査票への反映に関する事務局対応
	<p>【類似意見③】 回答するには時間がかかるだろうと感じた</p> <p>【類似意見④】 保護者の就労状況の設問と選択肢を簡潔にしてほしい</p> <p>【類似意見⑥】 設問文及び選択肢の文章が長いので、簡略化してほしい</p>	
⑧	調査票に記載の施設名を説明文より目立つようにしてほしい	<p>表紙の次ページに記載されている【用語の説明】のレイアウトを調整いたしました。</p> <p>また、就学前児童保護者対象用の Q14-1 などに記載されている選択肢について、文字の大きさを調整いたしました。</p>
⑨	<p>今回のアンケートが今後どのように役立つのかを明確にするべきである</p> <p>【類似意見】 アンケート結果を基にどのように具体的な計画を立てていくのか、利用者に対してもっとわかりやすく説明できる方法があればよいと思いました。</p>	表紙の「調査のお願い」の文章を簡略化し、調査結果の活用方法に関する図表が協調されるように調整いたしました。
⑩	社会的にも注目されているヤングケアラーに関する質問が必要だと感じます	今回のアンケート調査の目的が「保育事業の量の見込み」「ニーズの把握」としております。そのため、ニーズ量算出に活用しない設問であること、また、回答される方の負担軽減のため今回は掲載しないことといたしました。
⑪	もう1つは未就学児の間 36 について、「経済的負担を感じるかどうか」を尋ねていますが、この情報は具体的にどのように活用されるのか、それが明確でないことに疑問を感じました。	<p>現行計画では、「子育てに関する経済的支援」があり、教育・保育に要する費用が経済的に負担であるという課題がありました。</p> <p>今回も同様の設問を回答頂き、経年比較することで、この課題がどの程度解決されたか、また、市の関連事業の評価・検証につなげられればと考えております。</p>

No	意見の要旨	調査票への反映に関する事務局対応
⑫	<p>選択肢をもう少し絞り、自由回答を設けることで、回答をより簡潔に行うことができれば、アンケートの収集および集計もスムーズに進むと思います。</p>	<p>未就学児保護者用の Q9-1、Q9-2 について、選択肢を 6 つから 5 つに修正いたしました。(身体的負担と精神的負担、時間的制約に関する選択肢を 1 つに統合)</p> <p>また、自由回答については、回答欄を増やすことはしておりませんが、記載しやすいよう回答欄に下線を追記いたしました。</p>
⑬	<p>Web でのアンケートは実施できないか。</p>	<p>今回のニーズ調査は保育園や小学校などの施設を通じて依頼させていただき予定となっており、前回と同様に高い提出率が見込まれます。</p> <p>また、選択式の設問にするよう努めましたが、一定数の記述式があることや、設問数が多いこと、途中保存が難しいことなどから、スマートフォンなどでの回答が紙での回答より負担が生じることが懸念されるため、今回のニーズ調査では紙での調査のみとし、web での対応は行わないこととします。</p>

第3期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査 スケジュール

令和5年度														
		11月			12月			1月			2月		3月	
会議スケジュール														
子ども・子育て会議		第2回										第3回		
ニーズ調査票 作成業務スケジュール														
ニーズ調査票作成														
ニーズ調査票 印刷・製本・発送														
配布・回収期間														
調査結果入力														
集計・分析														

【備考】

令和5年 11月 第2回子ども・子育て会議 議題：ニーズ調査票の検討
 12月 ニーズ調査票 印刷、製本
 令和6年 1月 ニーズ調査票 配布・回収
 2月 調査結果の入力
 3月 集計・分析、第3回子ども・子育て会議 議題：ニーズ調査票結果（速報値）